

1/2

1/p

FRB資産縮小 来月開始

金融危機対応を完了

年内追加利上げ示唆

【ワシントン＝河浪武史】米連邦準備理事会(FRB)は20日の米連邦公開市場委員会(FOMC)で、2008年の金融危機後の量的緩和政策を完全に終結し、大幅に膨らんだ保有資産の縮小を始めると決めた。08～14年に購入した米国債などの保有量を、10月から段階的に減らす。米景気は拡大局面が続く、金融引き締めは15年末の利上げ開始に次ぐ新たな段階に入る。(関連記事3面に)

20日のFOMCでは6月に続く利上げを見送り、短期金利の指標であるフェデラルファンド(FF)金利の誘導目標は年1.00～1.25%のまま据え置いた。ただ、

同時に公表した金融政策見通しでは、FOMC参加者の多くが年内1回の追加利上げを予想。市場では12月の会合で再び利上げに踏み切るとの観測が急速に強まっている。

会合後に記者会見したイエレン議長は「米経済はハリケーンの影響で一時的に減速するが、今後数年にわたって緩やかな拡大が続く」と強調し、好調な景気を理由に資産

縮小の開始に踏み切ったと説明した。ただ、物価上昇率は想定以上に鈍化しており「ミステリーだ。当面は物価動向を注視する」と追加利上げの是非を慎重に見極める姿勢も

のぞかせた。

FRBは08年11月から14年10月までの量的緩和で、米国債や住宅ローン担保証券(MBS)を大

量に買い入れ、保有資産量は9千億から4・5兆ドルまで膨らんだ。14年

の量的緩和終了後も資産量を維持し続けてきたが、今年10月からは満期

を迎えた債券や証券への票メン

再投資を

資産のFRB

Sの保有

利に上昇

市場には

二重の今

る。市場

くする

力月の

月60億

月40億

める。

増やして

それ月

00億

の規模

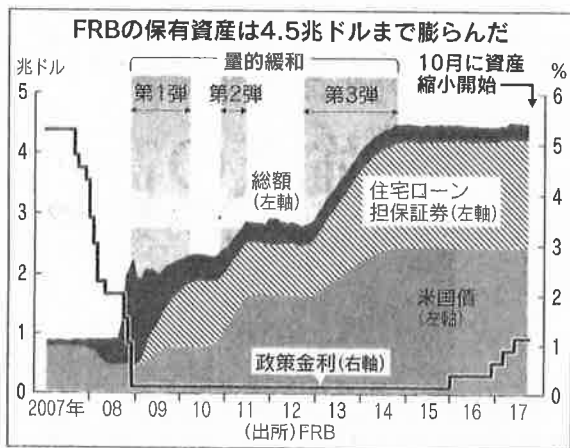
ドとな

FOMC

政策金利

加者16

票メン



日銀は大規模緩和維持

決定会合 景気判断据え置き

日銀は21日に開いた金融政策決定会合で、短期金利をマイナス0.1%、長期金利をゼロ程度に誘導する金融緩和策(長短金利操作)の現状維持を決めた。景気は順調に回復しているが足元の物

価上昇は鈍く、緩和策を

粘り強く続けて物価目標の達成をめざす。今回か

金融緩和効果が「2%の

物価上昇率を達成するに

は不十分」として反対し

た。物価見通しも「2%に

向けて上昇率を高めてい

く可能性は現時点では低

い」とした。上場投資信託

(ETF)や不動産投資信託

(REIT)などの資産

買い入れには賛成した。

黒田総裁が21日午後

記者会見し決定内容を説

明する。

に量よ

る現行

変えて

景気

してい

前回判

4.6%

生産(

統のプ

内需主

いてい

好循環

につな

緩和を

安定目

達成す

完了

げ示唆

OMC)

小を始めは拡大局

のぞかせた。
FRBは08年11月から14年10月までの量的緩和で、米国債や住宅ローン担保証券(MBS)を大量に買い入れ、保有資産量が9千億ドルから4・5兆ドルまで膨らんだ。14年の量的緩和終了後も資産量を維持し続けてきたが、今年10月からは満期を迎えた債券や証券への

候緩和維持

判断断据え置き

して加わっは反対票を
物価上昇率を達成するに
は「不十分」として反対し
た。物価見通しも「2%に
現状維持
總裁を含む
致で決定し
た。岡田と鈴
議委員とし
った。エコ
の片岡氏は
が「2%の

再投資を取りやめ、保有資産の圧縮を開始する。

FRBが米国債やMBSの保有量を減らせれば金利に上昇圧力がかかり、市場には利上げとともに二重の金融引き締めとなる。市場への影響を少なくするため、10月から3カ月の縮小幅は米国債が月60億ドル、MBSなどは月40億ドルと小規模にとどめる。縮小幅は段階的に増やして1年後にはそれぞれ月300億ドル、月200億ドルとし、資産縮小の規模は最大で年6千億ドルとなる見込みだ。

FOMC後に公表した政策金利見通しでは、参加者16人(金融政策の投票メンバーは9人)のうち

明する。2016年9月に量よりも金利を重視する現行の政策に枠組みを変えてから1年になる。景気は「緩やかに拡大している」とした7月の前回判断を据え置いた。4～6月期の実質国内総生産(GDP)は6期連続のプラス成長となり、内需主導の景気回復が続いている。日銀は景気的好循環がいずれ物価上昇につながるとみている。緩和を続け、2%の物価安定目標を19年度ごろに達成することをめざす。

ち、12人が年末までに追加利上げを予測していることを明らかにした。FOMCは今年3回の利上げを想定し、3月、6月と利上げに踏み切っている。ただ、市場では物価停滞などの影響で年内の追加利上げを見送るという予想が浮かんできた。

FRBは利上げに続いて資産縮小に着手すること、政策運営を危機モ

円下落、112円台半ば

【ニューヨーク山下晃】20日のニューヨーク外国為替市場では、米連邦準備理事会(FRB)を織り込み、ドルが買われ、円相場は一時1ドル112円台半ば

にたどり着いた。主要中央銀行では欧州中央銀行(ECB)も量的緩和の縮小を視野に入れ、英中のけん引でダウ工業株30種平均は前日比41ドル高と過去最高値を更新した。円相場は21日の東京市場でも円安・ドル高の流れを引き継ぎ、112円台半ばで推移。円安進行を好感した東京株式市場で日経平均株価は一時、前日比170円高の水準まで買い進まれた。

FRBは20日示した政策金利見通しは、2017年と18年の中央値が前回6月公表分から変更が

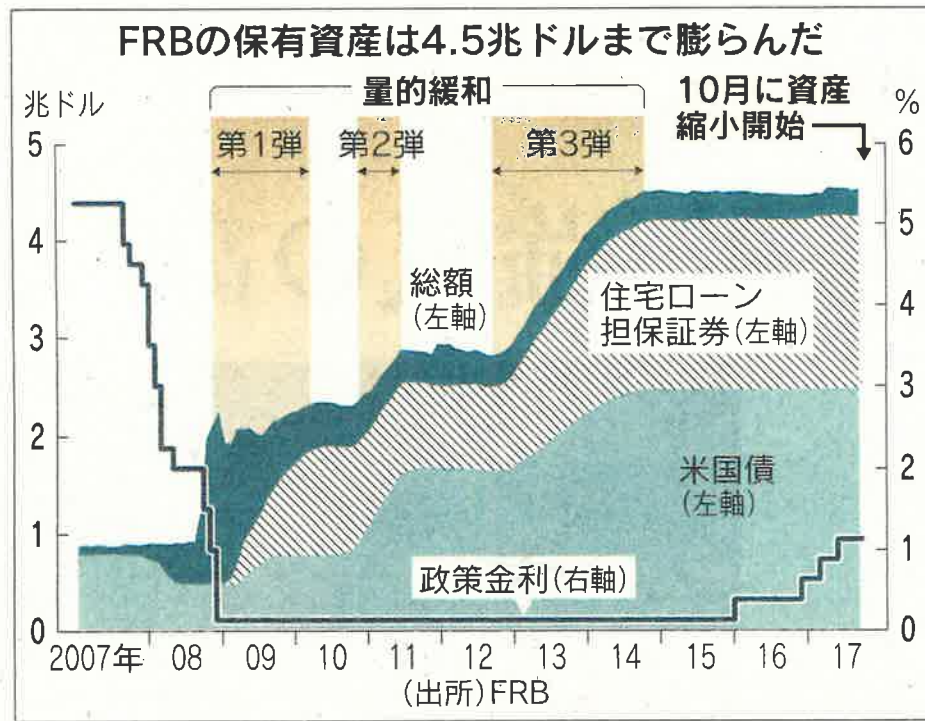
なく、年々する姿勢を米2年物・一時1・45・05%上昇10カ月ぶった。米10月も一時20・04%高日米金利識されてた。

FRB資産縮小 来

で、2008年の金融危機後の量的緩和政策を完全に終結し、大幅に膨らんだ保
と決めた。08～14年に購入した米国債などの保有量を、10月から段階的に減ら
面が続き、金融引き締めは15年末の利上げ開始に次ぐ新たな段階に入る。(関浦
20日のFOMCでは6
月に続く利上げを見送
り、短期金利の指標であ
るフェデラルファンド
(F) 金利の誘導目標
は年1・00～1・25%の
まま据え置いた。ただ、
が急速に強まっている。

同時に公表した金融政策
見通しでは、FOMC参
加者の多くが年内1回の
追加利上げを予想。市場
では12月の会合で再び利
上げに踏み切るとの観測
が急速に強まっている。

会合後に記者会見した
イエレン議長は「米経済
はハリケーンの影響で一
時的に減速するが、今後
数年にわたって緩やかな
拡大が続く」と強調し、
好調な景気を理由に資産
を



日銀は太

決定会

日銀は21日に開いた金
融政策決定会合で、短期
金利をマイナス0・1%
長期金利をゼロ%程度に
誘導する金融緩和策(長
短金利操作)の現状維持
を決めた。景気は順調に
回復しているが足元の物
価上昇は鈍く、緩和策を
粘り強く続けて物価目標
の達成をめざす。今回か

金ノて木た8は投たら

首相「北朝鮮の脅威、眼前」

国連演説、圧力強化求める

【ニューヨーク＝田島
如生】訪米中の安倍晋三
首相は20日午後(日本時
間21日未明)、国連総会
で一般討論演説をした。

金正恩(キム・ジョン
ウン)委員長を「独裁
者」と批判し、国際社会
で結束し北朝鮮に圧力を
強めるよう呼びかけた。

の骨子》

は重大で眼前
なもの
とICBMを
としている
話でなく圧力
サイクル計画を
放棄させるべき
制裁決議は厳
格な履行を
課題の解決に全